

2026 年 1 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社ANAPホールディングス  
 代 表 者 名 代表取締役社長 川合 林太郎  
 (コード：3189・東証スタンダード)  
 問 合 せ 先 取締役経営管理本部長 根岸 良直  
 電 話 番 号 03-5772-2717

(訂正)「財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備及び第三者的調査の実施に関するお知らせ」の一部訂正について

当社は、2025 年 12 月 1 日付にて開示した「財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備及び第三者的調査の実施に関するお知らせ」について一部訂正すべき箇所がございましたので以下の通り、お知らせします。尚、訂正箇所につきましては下線を付しております。

記

項目	訂正前	訂正後
3. 開示すべき重要な不備の是正方針	1) 現在、 <u>当社の代表取締役社長と取締役副社長を含む業務執行取締役全員と調査対象子会社の代表取締役社長を含む業務執行取締役全員及び管理部門スタッフに加え、外部専門家として不正調査に豊富な実績を有する日比谷パーク法律事務所の弁護士複数名から構成される調査チームにより、減損損失の対象となった資産の取得に至るまでの取締役会資料、議事録等から意思決定の正当性、合理性および価額合理性について精査を行い、こうした事象が生じた原因を分析</u>	1) 現在、 <u>外部専門家として不正調査に豊富な実績を有する日比谷パーク法律事務所の弁護士複数名から構成される調査チームにより、減損損失の対象となった資産の取得に至るまでの取締役会資料、議事録等から意思決定の正当性、合理性および価額合理性について精査を行い、こうした事象が生じた原因を分析するとともに、再発防止のための内部統制の整備・運用を図っていると同時に、前経営陣に対する責任の所在を明らかにする調査作業を進めております。当社</u>

	<p>するとともに、再発防止のための内部統制の整備・運用を図っていると同時に、前経営陣に対する責任の所在を明らかにする調査作業を進めております。<u>外部専門家</u>からは当該調査の結論までは数ヶ月の時間を要するという意見をいただいております。その結果については別途適時開示を予定しております。また、その結果を受けて、当社は前経営陣に対する責任の所在を明らかにしたうえ、<u>顧問弁護士</u>と相談の上、法令に則り損害回収のための具体的施策を機関決定する予定です。<u>&lt;後略&gt;</u></p>	<p><u>の代表取締役社長と取締役副社長を含む業務執行取締役全員と調査対象子会社の代表取締役社長を含む業務執行取締役全員及び管理部門スタッフは、調査チームから指示・要請された資料を提出し又はヒアリング日程を調整する事務局として調査をサポートしています。</u>調査チームからは当該調査の結論までは数ヶ月の時間を要するという意見をいただいております。その結果については別途適時開示を予定しております。また、その結果を受けて、当社は前経営陣に対する責任の所在を明らかにしたうえ、<u>調査チームからの提言を踏まえ、法令に則り損害回収のための具体的施策を機関決定する予定です。</u><u>&lt;後略&gt;</u></p>
--	---	---

以 上